



なかしん

中小企業景況レポート

No.46 中栄信用金庫 地域支援部

2023年1月～3月実績と2023年4月～6月見込み

◆ 調査概要

調査時期 2023年3月上旬
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
 調査企業数 340社
 回答企業数 324社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	94	86	91.4
卸売業	29	28	96.5
小売・飲食業	64	61	95.3
サービス業	53	52	98.1
建設業	65	64	98.4
不動産業	35	33	94.2
合計	340	324	95.2

◆ 1月～3月期の概況

～特別調査により4割の企業が賃金を引き上げると回答～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲11.5を示し、前回調査(2022年10～12月期)に比べ0.9ポイントの小幅悪化となりました。

主な要因として、製造業において電気料金などのエネルギー価格高騰を背景に景況感が悪化したことが挙げられております。しかしながら、小売・飲食業、サービス業では行政の需要喚起策の影響を受けたことにより景況感の改善となっており、全業種総合の景況感 は 2020年3月のコロナウイルス蔓延以降の調査において前回調査に次いで2番目に良い数値となっていることから足元における景況感 は 緩やかに持ち直しの動きが広がつつあります。

しかしながら、建設業では人材不足に伴う受注の機会損失が発生した企業がみられており、人材確保及び人材流出への対応を課題に挙げている企業が見受けられております。

特別調査では政府からの賃上げ要請がされる中、定例給与や時給における引き上げ状況に関する問いに対し、約4割の企業が「賃金を引き上げる」と回答したのに対し、約3割の企業が「引き上げる予定はない」と回答しております。また、賃金の引き上げ率については「1～2%程度引き上げる」と回答した企業が最も多くみられております。

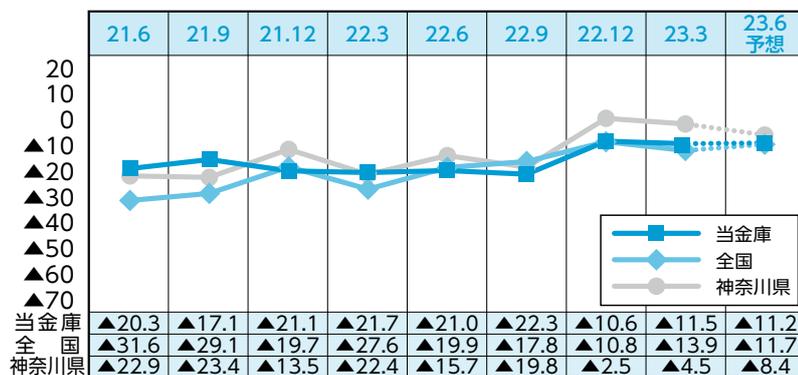
項目別にみると、売上額実績 D.I. は 14.1ポイント悪化の▲8.1、収益実績 D.I. は 6.8ポイント悪化の▲17.1となっております。仕入価格 D.I. は 3.0ポイント小幅改善の73.6、資金繰り D.I. は 0.1ポイント小幅改善の▲13.4、人手過不足 D.I. は 3.7ポイント悪化し▲36.5となっております。また、業種別の景況感 は サービス業が 20.0ポイント改善の▲19.6、卸売業が 7.9ポイント改善の▲14.3、小売・飲食業が 5.5ポイント改善の▲26.7、建設業が 1.3ポイント小幅悪化の▲6.2、不動産業が 10.0ポイント悪化の▲16.1、製造業が 15.8ポイント悪化の2.3となっております。(業種別の詳細につきましては次頁以降をご参照ください。)

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は 3.1ポイント悪化の▲13.9、神奈川県内につきましては 2.0ポイント小幅悪化の▲4.5となっております。(全国と神奈川県の D.I. 値につきましては信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。)

◆ 4月～6月期の見通し

来期の業況判断予想は 0.3ポイント小幅改善の▲11.2、売上額 D.I. は 14.1ポイント改善の6.0、収益 D.I. は 4.9ポイント改善の▲12.2の見通しとなっております。

業況判断 D.I. 値(全業種)



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000 (うち神奈川県 約 480) の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
 良い ← → 悪い

製造業

●概況

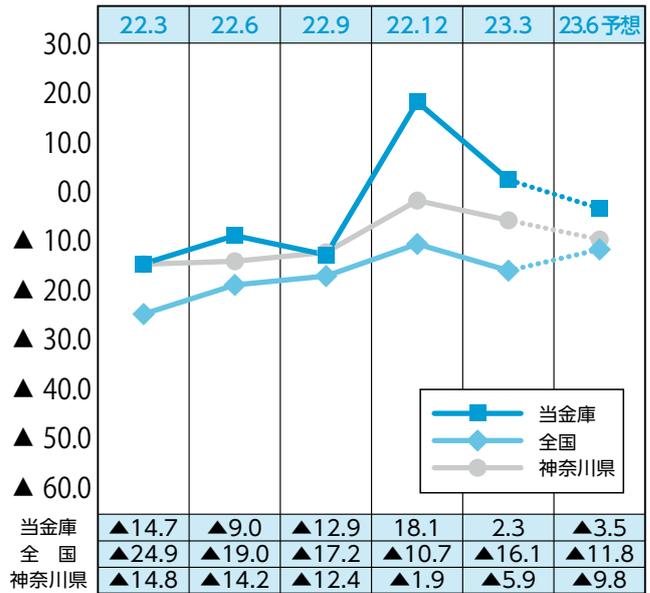
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 15.8 ポイント悪化の 2.3 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 41.3 ポイント大幅悪化の▲17.4、収益 D.I. は 31.3 ポイント大幅悪化の▲27.9 となっております。

コロナウイルス禍からの経済活動の回復を背景に主要取引先からの受注回復などがみられた前回調査に比べ、今回は受注の回復状況が一服したことから売上額 D.I. の悪化となるも、営業活動の成果として新規顧客獲得に繋がった企業がみられております。また、収益 D.I. の悪化につきましてはエネルギー価格の高騰が続く中、高騰分の価格転嫁が追い付いておらず収益悪化となったことが要因となっております。

なお、全国は 5.4 ポイント悪化の▲16.1 となっており、神奈川県は 4.0 ポイント悪化の▲5.9 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 5.8 ポイント悪化の▲3.5 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績			D.I.
前期実績	45.4	33.1	21.5	23.9
当期実績	18.6	45.4	36.0	▲17.4
来期予想	24.4	54.7	20.9	3.5
前年同期比	37.2	38.4	24.4	12.8

販売価格

	前期実績			D.I.
前期実績	29.5	67.1	3.4	26.1
当期実績	26.7	67.5	5.8	20.9
来期予想	27.9	69.8	2.3	25.6

在庫

	前期実績			D.I.
前期実績	13.6	71.7	14.7	▲1.1
当期実績	12.9	81.3	5.8	7.1
来期予想	12.9	82.4	4.7	8.2

人手

	前期実績			D.I.
前期実績	+7.9	54.6	37.5	▲29.6
当期実績	+11.6	51.2	37.2	▲25.6
来期予想	+9.4	57.7	32.9	▲23.5

収益

	前期実績			D.I.
前期実績	30.6	42.2	27.2	3.4
当期実績	17.4	37.3	45.3	▲27.9
来期予想	18.6	41.9	39.5	▲20.9
前年同期比	25.5	35.0	39.5	▲14.0

原材料価格

	前期実績		D.I.
前期実績	86.3	13.7	86.3
当期実績	79.0	21.0	79.0
来期予想	72.0	28.0	72.0

資金繰り

	前期実績			D.I.
前期実績	12.5	69.4	18.1	▲5.6
当期実績	17.4	66.4	16.2	1.2
来期予想	17.4	64.0	18.6	▲1.2

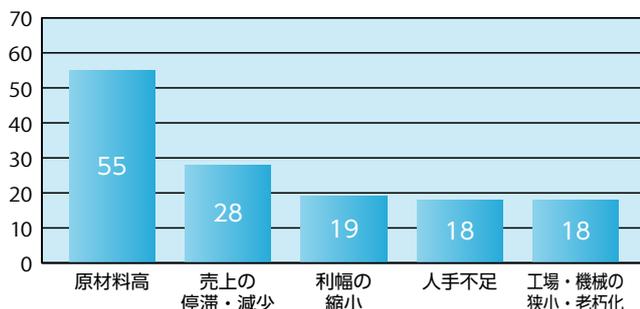
設備状況

	前期実績			D.I.
前期実績	+3.4	73.9	22.7	▲19.3
当期実績	+4.6	74.5	20.9	▲16.3
来期予想	+2.3	78.9	18.8	▲16.5

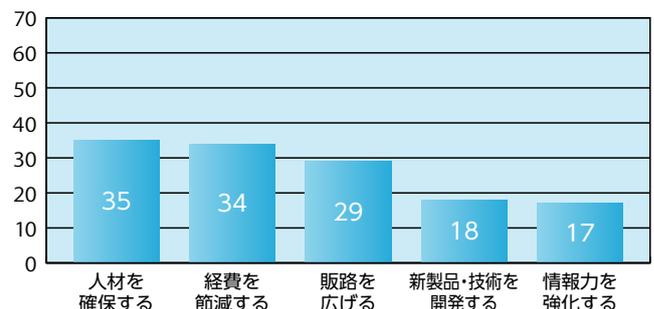
当期実績…2023年 1～3 月期
来期予想…2023年 4～6 月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 7.9 ポイント改善の▲14.3 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 18.7 ポイント悪化の 3.5、収益 D.I. は 7.1 ポイント改善の 7.1 となっております。

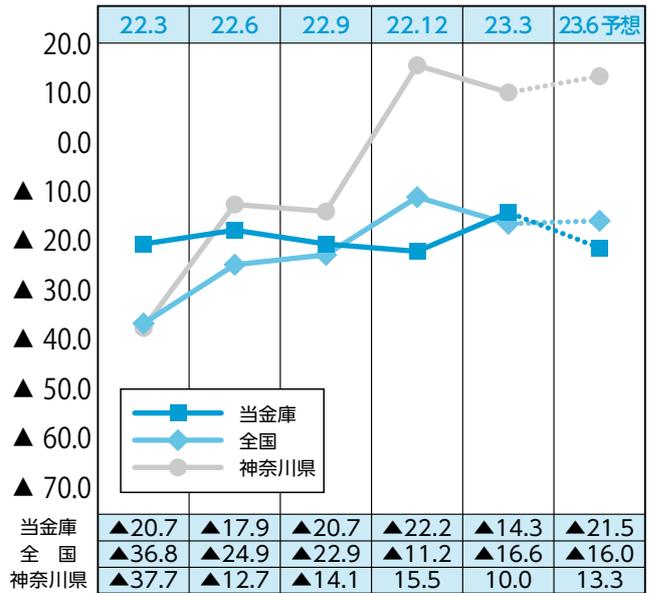
食品卸売業では、主要取引先の業況回復に伴い受注量の増加に繋がったことに加え、仕入価格高騰の影響を受ける中、販売価格への転嫁を進めたことで収益の改善が図られた企業がみられております。

一方、建材卸売業では、建築資材の高騰が続き、低価格な企業へと顧客が流れたことで受注量の減少がみられております。また、若手従業員の定着率向上に向けた労働条件などの改善を図る企業が見受けられております。

なお、全国は 5.4 ポイント悪化の▲16.6 となっており、神奈川県は 5.5 ポイント悪化の 10.0 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 7.2 ポイント悪化の▲21.5 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績			D.I.
前期実績	40.7	40.8	18.5	22.2
当期実績	39.2	25.1	35.7	3.5
来期予想	32.1	53.7	14.2	17.9
前年同期比	42.8	32.2	25.0	17.8

販売価格

	前期実績			D.I.
前期実績	48.1	40.8	11.1	37.0
当期実績	57.1	35.8	7.1	50.0
来期予想	50.0	39.3	10.7	39.3

在庫

	前期実績			D.I.
前期実績	11.1	88.9		11.1
当期実績	21.4	78.6		21.4
来期予想	17.8	82.2		17.8

人手

	前期実績			D.I.
前期実績	+3.7	66.7	29.6	▲25.9
当期実績	+3.7	63.0	33.3	▲29.6
来期予想	+3.7	66.7	29.6	▲25.9

収益

	前期実績			D.I.
前期実績	25.9	48.2	25.9	0.0
当期実績	32.1	42.9	25.0	7.1
来期予想	14.2	64.4	21.4	▲7.2
前年同期比	21.4	50.1	28.5	▲7.1

仕入価格

	前期実績			D.I.
前期実績	70.3	26.0	3.7	66.6
当期実績	78.5	10.8	10.7	67.8
来期予想	67.8	25.1	7.1	60.7

資金繰り

	前期実績			D.I.
前期実績	+7.4	59.3	33.3	▲25.9
当期実績	+3.5	64.4	32.1	▲28.6
来期予想	+3.5	71.5	25.0	▲21.5

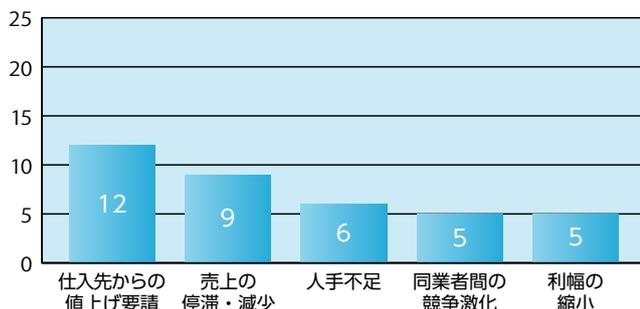
設備状況

	前期実績			D.I.
前期実績	88.9		11.1	▲11.1
当期実績	92.4		7.6	▲7.6
来期予想	84.7		15.3	▲15.3

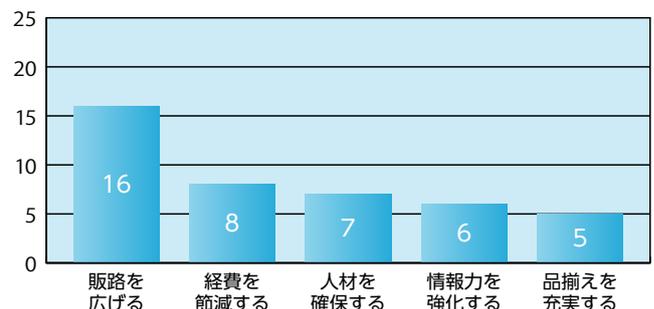
当期実績…2023年 1～3月期
来期予想…2023年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 5.5 ポイント改善の▲26.7 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 18.4 ポイント悪化の▲20.0、収益 D.I. は 12.1 ポイント悪化の▲25.0 となっております。

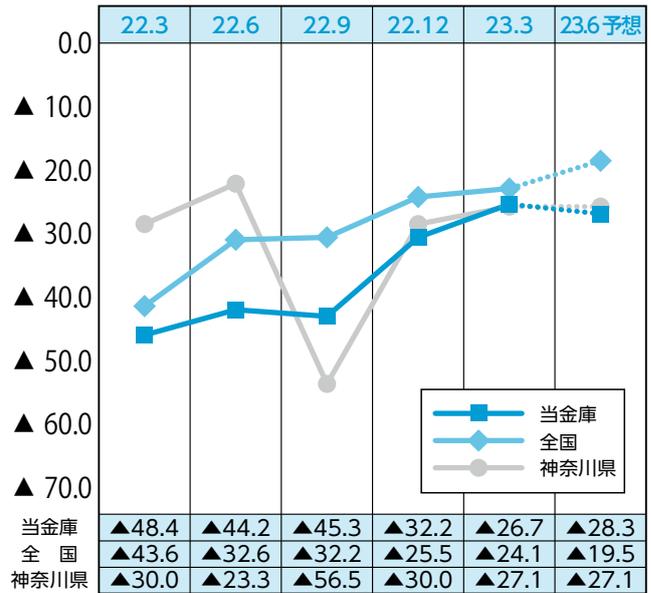
コロナウイルスの影響が和らいだことで夜間の小規模宴会等団体客の利用状況が改善しており、秦野市、伊勢原市においては、行政による需要喚起策の効果により客単価の上昇や新規顧客の来店へと繋がった企業がみられたことから業況判断 D.I. の改善となっております。

しかしながら、食用油や卵などの仕入価格高騰及び水道光熱費等の値上げによる収益環境の悪化は依然続いており、コスト上昇分に価格転嫁が追い付いていないことから収益 D.I. の悪化となっております。

なお、全国は 1.4 ポイント小幅改善の▲24.1 となっており、神奈川県は 2.9 ポイント小幅改善の▲27.1 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 1.6 ポイント小幅悪化の▲28.3 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	27.4	43.6	29.0	D.I.
前期実績	27.4	43.6	29.0	▲1.6	
当期実績	20.0	40.0	40.0	▲20.0	
来期予想	28.8	39.0	32.2	▲3.4	
前年同期比	44.0	28.9	27.1	16.9	

販売価格

	前期実績	51.6	38.8	9.6	D.I.
前期実績	51.6	38.8	9.6	42.0	
当期実績	40.0	55.0	5.0	35.0	
来期予想	46.6	53.4		46.6	

在庫

	前期実績	11.2	84.0	4.8	D.I.
前期実績	11.2	84.0	4.8	6.4	
当期実績	6.6	91.8	1.6	5.0	
来期予想	8.3	86.7	5.0	3.3	

人手

	前期実績	8.0	59.8	32.2	D.I.
前期実績	8.0	59.8	32.2	▲24.2	
当期実績	1.6	56.8	41.6	▲40.0	
来期予想	1.6	58.4	40.0	▲38.4	

収益

	前期実績	22.5	42.1	35.4	D.I.
前期実績	22.5	42.1	35.4	▲12.9	
当期実績	16.6	41.8	41.6	▲25.0	
来期予想	16.6	46.8	36.6	▲20.0	
前年同期比	32.2	35.6	32.2	0.0	

仕入価格

	前期実績	82.2	17.8	D.I.
前期実績	82.2	17.8	82.2	
当期実績	76.6	21.8	1.6	75.0
来期予想	76.6	23.4		76.6

資金繰り

	前期実績	11.2	66.3	22.5	D.I.
前期実績	11.2	66.3	22.5	▲11.3	
当期実績	3.3	78.4	18.3	▲15.0	
来期予想	6.6	73.4	20.0	▲13.4	

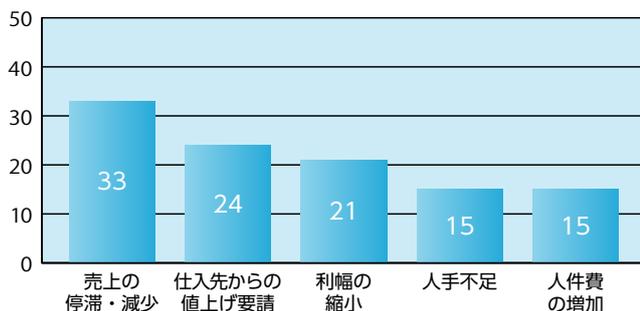
設備状況

	前期実績	88.8	11.2	D.I.
前期実績	88.8	11.2	▲11.2	
当期実績	90.0	10.0	▲10.0	
来期予想	90.0	10.0	▲10.0	

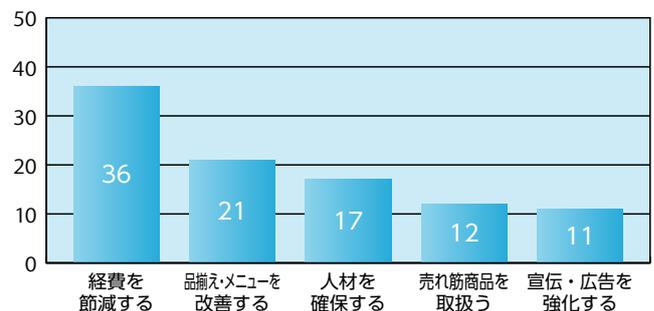
当期実績…2023年 1～3月期
来期予想…2023年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

●概況

サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 20.0 ポイント改善の▲19.6となりました。項目別では、売上額 D.I. は 8.3 ポイント改善の 0.0、収益 D.I. は横ばいの▲25.0 となっております。

運送業では、燃料費高騰による輸送コスト上昇に伴い荷主との価格交渉を行うも価格転嫁が進んでおらず、配送ルートの見直しなどに取り組む企業がみられております。

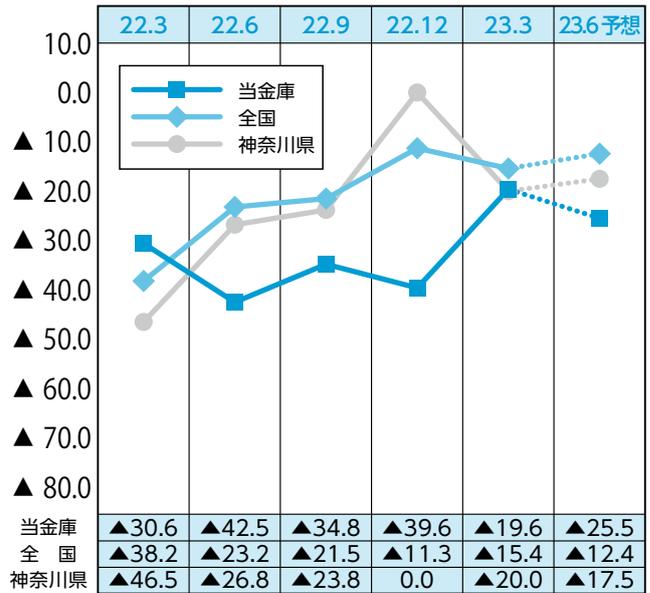
理美容業では、値上げによる顧客離れの恐れから、エネルギー価格の高騰による水道光熱費等の上昇分を提供価格へ転嫁できず、利幅が縮小していることから、経営戦略の見直しを図る企業が見受けられます。

サービス業全体では改善がみられるものの、景況感は依然マイナス域での推移となっております。

なお、全国は 4.1 ポイント悪化の▲15.4 となっており、神奈川県は 20.0 ポイント悪化の▲20.0 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 5.9 ポイント悪化の▲25.5 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	22.9	45.9	31.2	D.I.
前期実績	22.9	45.9	31.2	▲8.3	
当期実績	30.7	38.6	30.7	0.0	
来期予想	29.4	49.1	21.5	7.9	
前年同期比	38.4	32.8	28.8	9.6	

料金価格

	前期実績	33.3	64.7	2.0	D.I.
前期実績	33.3	64.7	2.0	31.3	
当期実績	21.1	73.2	5.7	15.4	
来期予想	15.6	80.5	3.9	11.7	

資金繰り

	前期実績	4.1	54.3	41.6	D.I.
前期実績	4.1	54.3	41.6	▲37.5	
当期実績	5.8	64.8	29.4	▲23.6	
来期予想	5.8	66.8	27.4	▲21.6	

設備状況

	前期実績	4.1	77.2	18.7	D.I.
前期実績	4.1	77.2	18.7	▲14.6	
当期実績	71.2	28.8	▲28.8		
来期予想	71.2	28.8	▲28.8		

収益

	前期実績	16.6	41.8	41.6	D.I.
前期実績	16.6	41.8	41.6	▲25.0	
当期実績	17.3	40.4	42.3	▲25.0	
来期予想	19.6	45.2	35.2	▲15.6	
前年同期比	25.0	30.8	44.2	▲19.2	

材料価格

	前期実績	75.0	20.9	4.1	D.I.
前期実績	75.0	20.9	4.1	70.9	
当期実績	76.9	21.2	1.9	75.0	
来期予想	70.5	29.5	70.5		

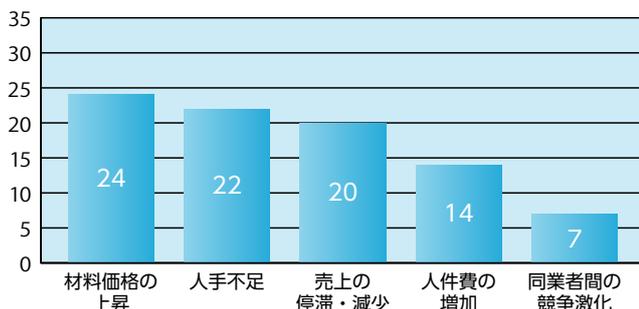
人手

	前期実績	2.0	54.3	43.7	D.I.
前期実績	2.0	54.3	43.7	▲41.7	
当期実績	5.8	43.3	50.9	▲45.1	
来期予想	6.1	47.0	46.9	▲40.8	

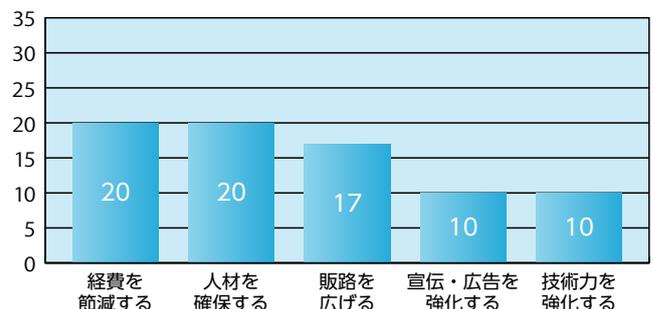
当期実績…2023年 1～3月期
来期予想…2023年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

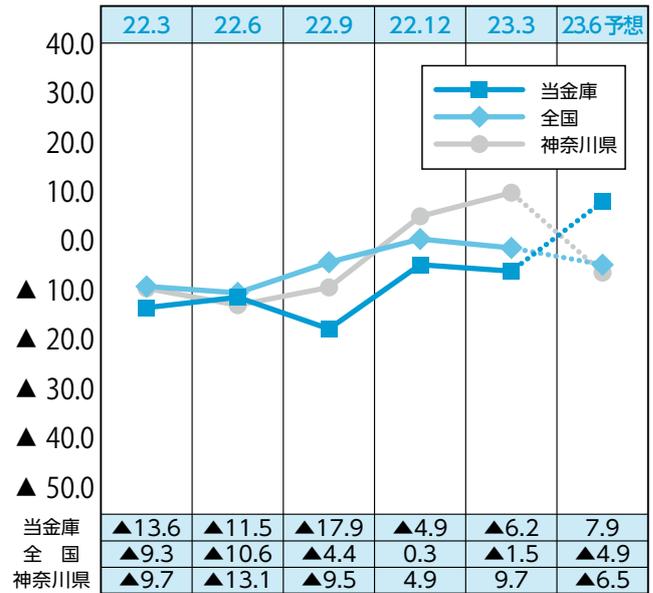
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 1.3 ポイント小幅悪化の▲6.2 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 0.2 ポイント小幅悪化の 3.1、収益 D.I. は 8.3 ポイント改善の▲7.8 となっております。

住宅関連の宅地造成工事に加え、首都圏エリアにおいてインフラ整備工事やビル建設などの動きが活発化したことで受注状況が改善され、原材料価格高騰に対する価格転嫁への動きも強まったことから収益 D.I. の改善となっております。また、人材不足に伴う受注機会の損失が発生しており、人材確保及び人材流出への対応策として賃上げや労働条件の改善に取り組む企業がみられております。

なお、全国は 1.8 ポイント小幅悪化の▲1.5 となっており、神奈川県は 4.8 ポイント改善の 9.7 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 14.1 ポイント改善の 7.9 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	27.4	48.5	24.1		3.3
当期実績	29.6	43.9	26.5		3.1
来期予想	31.2	56.3	12.5		18.7
前年同期比	28.1	45.4	26.5		1.6

請負価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	29.0	61.4	9.6	19.4
当期実績	25.0	61.0	14.0	11.0
来期予想	20.3	64.1	15.6	4.7

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	4.8	84.0	11.2	▲6.4
当期実績	4.6	89.2	6.2	▲1.6
来期予想		92.2	7.8	▲7.8

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	51.7	48.3		▲48.3
当期実績	4.6	42.3	53.1	▲48.5
来期予想	48.5	51.5		▲51.5

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	12.9	58.1	29.0		▲16.1
当期実績	20.3	51.6	28.1		▲7.8
来期予想	18.7	67.3	14.0		4.7
前年同期比	15.6	57.9	26.5		▲10.9

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	80.6	17.8	1.6	79.0
当期実績	82.8	15.7	1.5	81.3
来期予想	65.6	29.8	4.6	61.0

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	6.4	77.5	16.1	▲9.7
当期実績	3.1	76.6	20.3	▲17.2
来期予想	6.2	81.3	12.5	▲6.3

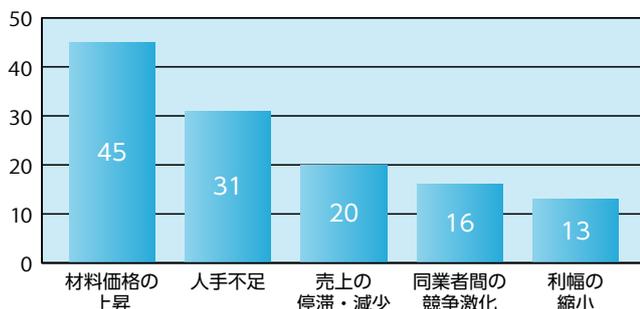
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	3.2	90.4	6.4	▲3.2
当期実績	1.5	93.9	4.6	▲3.1
来期予想		95.3	4.7	▲4.7

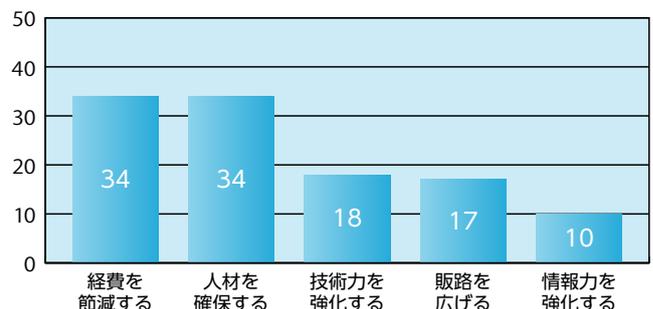
当期実績…2023年 1～3月期
来期予想…2023年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

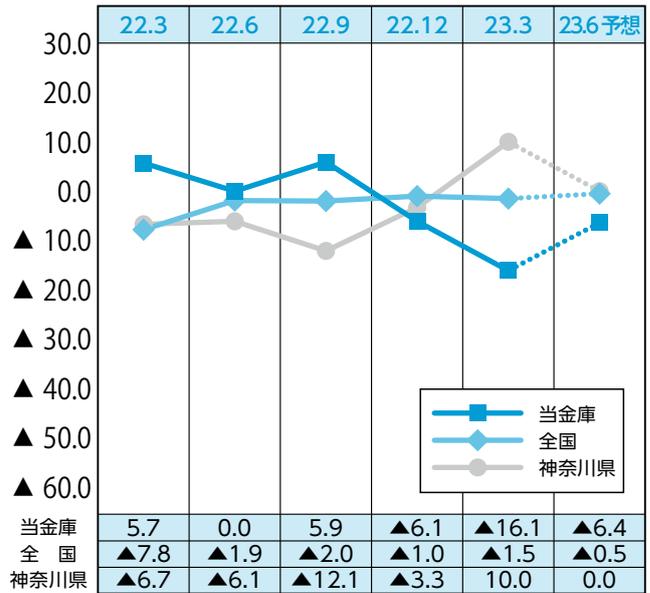
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 10.0 ポイント悪化の▲16.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 8.9 ポイント改善の▲6.2、収益 D.I. は 18.2 ポイント改善の 0.0 となっております。

当金庫主要営業エリア内における不動産需要は依然と強く、在庫回転期間は短縮しております。一方、商品仕入では需要が供給を上回る状態が依然として続いており、仕入価格高騰へと繋がったことから商品仕入が思うように進まず、在庫不足に伴う販売機会の損失が生じており、業況判断 D.I. の悪化となっております。

なお、全国は 0.5 ポイント小幅悪化の▲1.5 となっており、神奈川県は 13.3 ポイント改善の 10.0 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 9.7 ポイント改善の▲6.4 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	24.2	36.5	39.3	D.I.
前期実績	24.2	36.5	39.3	▲15.1	
当期実績	28.1	37.6	34.3	▲6.2	
来期予想	21.8	47.0	31.2	▲9.4	
前年同期比	28.1	46.9	25.0	3.1	

販売価格

	前期実績	42.4	42.5	15.1	D.I.
前期実績	42.4	42.5	15.1	27.3	
当期実績	40.6	46.9	12.5	28.1	
来期予想	25.0	68.8	6.2	18.8	

在庫

	前期実績	33.4	66.6	D.I.
前期実績	33.4	66.6	▲66.6	
当期実績	34.4	65.6	▲65.6	
来期予想	37.5	62.5	▲62.5	

人手

	前期実績	78.8	21.2	D.I.
前期実績	78.8	21.2	▲21.2	
当期実績	71.9	28.1	▲28.1	
来期予想	71.9	28.1	▲28.1	

収益

	前期実績	24.2	33.4	42.4	D.I.
前期実績	24.2	33.4	42.4	▲18.2	
当期実績	31.2	37.6	31.2	0.0	
来期予想	25.0	43.8	31.2	▲6.2	
前年同期比	25.0	43.8	31.2	▲6.2	

仕入価格

	前期実績	54.5	42.5	3.0	D.I.
前期実績	54.5	42.5	3.0	51.5	
当期実績	50.0	43.8	6.2	43.8	
来期予想	31.2	65.7	3.1	28.1	

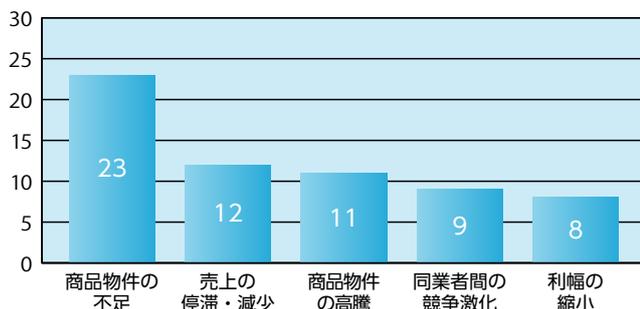
資金繰り

	前期実績	9.0	82.0	9.0	D.I.
前期実績	9.0	82.0	9.0	0.0	
当期実績	6.2	75.1	18.7	▲12.5	
来期予想	6.2	84.5	9.3	▲3.1	

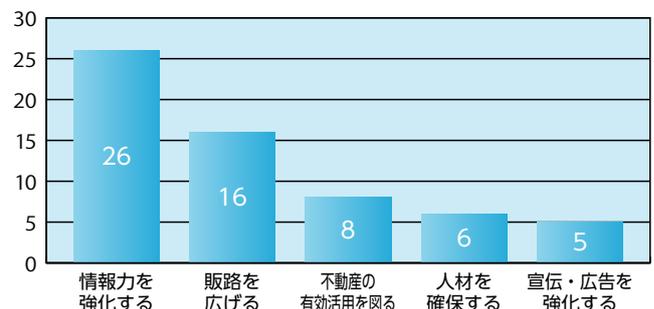
当期実績…2023年 1～3月期
来期予想…2023年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 340 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 貴社における今期（1 月～3 月）の売上は、昨年同月期と比較した時、原材料価格及びエネルギー価格等の物価高騰や円安の進行に伴う影響をどの程度受けていますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| ○ 70%以上の増加 …………… 2 社 | ○ ほぼ変化なし（10%未満の増減）…………… 123 社 |
| ○ 50%以上 70%未満の増加 …………… 4 社 | ○ 10%以上 30%未満の減少 …………… 44 社 |
| ○ 30%以上 50%未満の増加 …………… 27 社 | ○ 30%以上 50%未満の減少 …………… 8 社 |
| ○ 10%以上 30%未満の増加 …………… 107 社 | ○ 50%以上の減少 …………… 3 社 |

問 2. 貴社における来期（4 月～6 月）の売上は、昨年同月期と比較した時、原材料価格及びエネルギー価格等の物価高騰や円安の進行に伴う影響をどの程度受けると予想されますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| ○ 70%以上の増加 …………… 4 社 | ○ ほぼ変化なし（10%未満の増減）…………… 122 社 |
| ○ 50%以上 70%未満の増加 …………… 4 社 | ○ 10%以上 30%未満の減少 …………… 55 社 |
| ○ 30%以上 50%未満の増加 …………… 27 社 | ○ 30%以上 50%未満の減少 …………… 3 社 |
| ○ 10%以上 30%未満の増加 …………… 99 社 | ○ 50%以上の減少 …………… 4 社 |

問 3. 貴社では、今期（1 月～3 月）において、原材料価格及びエネルギー価格等の高騰や円安の進行に伴う物価高騰に対しどの程度販売価格への転嫁をおこなっていますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------------|
| ○ 価格高騰分の 90%以上を転嫁できている … 16 社 | ○ 価格高騰分の 10%以上を転嫁できている … 87 社 |
| ○ 価格高騰分の 70%以上を転嫁できている … 25 社 | ○ 価格高騰分をほぼ転嫁できていない（10%未満の増減）… 124 社 |
| ○ 価格高騰分の 50%以上を転嫁できている … 27 社 | ○ 10%以上販売価格が減少している …………… 8 社 |
| ○ 価格高騰分の 30%以上を転嫁できている … 24 社 | ○ 30%以上販売価格が減少している …………… 1 社 |

問 4. 政府から賃上げの要請がされている中、貴社では定例給与・時給における引き上げについてどのように考えていますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| ○ 全従業員を対象に引き上げる …………… 71 社 | ○ 全従業員を対象に引き下げる …………… 1 社 |
| ○ 一部従業員を対象に引き上げる …………… 49 社 | ○ 現在未定である …………… 90 社 |
| ○ 増減の予定はない …………… 105 社 | ○ その他 …………… 0 社 |
| ○ 一部従業員を対象に引き下げる …………… 3 社 | |

問 5. 問 4 において定例給与・時給を引き上げると回答した場合には「賃金に対する引き上げ率」の内あてはまるものを 1 つ、増減の予定はない及び定例給与・時給を引き下げると回答した場合には「賃上げを見送る理由」の内あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 賃金に対する引き上げ率 | 賃上げを見送る理由 |
| ○ 0～1%程度引き上げる …………… 27 社 | ○ 景気の見通しが不透明 …………… 70 社 |
| ○ 1～2%程度引き上げる …………… 43 社 | ○ 自社の業績を反映 …………… 50 社 |
| ○ 2～3%程度引き上げる …………… 39 社 | ○ 既に賃上げを実施済み …………… 4 社 |
| ○ 3～4%程度引き上げる …………… 11 社 | ○ 賃上げを検討したことがない …………… 16 社 |
| ○ 4%以上引き上げる …………… 20 社 | ○ その他 …………… 3 社 |

経営のポイント! 『ちょっと一休み』



2 回にわたりドメインについて考えてきました。ここで少しブレイク。頭の体操をしてみましょう。
 「ドリルを買いに来た人が欲しいのは、ドリルではなく『穴』である」
 これは、マーケティングの大家であるセオドア・レビット博士が、著書『マーケティング発想法』の中で紹介した有名な話です。あるホームセンターにドリルを買いに来た男性がいました。店内を探しても見つかることが出来ず、店員に尋ねます。
 男性：「経 1/4 インチ（約 6mm）のドリルは売っていますか」
 店員：「あいにくのところ売り切れです」
 男性：「そうですか（帰ってしまう）」
 前回まで考えてきたドメインには、商品などの「モノ」を中心に発想する物理的定義と商品やサービスが提供する機能や価値などの「コト」を中心に発想する機能的定義があります。もし上記企業で「DIY における課題解決のパートナー」と機能的に定義していれば、店員が「それは何をするための穴ですか？」と尋ね、顧客のニーズを満たす代替品で対応出来たかもしれません。
 あなたの顧客が本当に求めているものは何ですか？

